



「教育から共育へ シンポジウム」から

ま ち

6月18日(土)開催

私たちが目指す地域の姿が見えてきた!

— おやじの会が学校と地域の橋渡しに! —

「おやじの会」 って何?



(社)三原青年会議所では、現在の子ども達を健全に育成する為に、これまでの教育環境PTAにC(地域コミュニティー)を加えて連携する教育環境PTCAが必要だと訴えて参りました。

そして、本年度、地域の共育力向上委員会では、地域の人々が自然に地域の子どもの育成に関わっている事例を模索したところ、「おやじの会」にその可能性を見出しました。

そこで、このシンポジウムでは、家庭・学校・地域の人々に対して「おやじの会」で実際に活動している方や関わっている方、地域のボランティアとして子どもの育成に関わっている方をパネリストに招き、家庭の人々に対しては「おやじの会」の意味と必要性を、学校・地域の人々に対しては「おやじの会」と連携する必要性について学ぶ場となりました。



「おやじの会」 学校へ行こうよ!

みなが きいたが

心配された水不足もここ数日の雨で大丈夫のようである。10数年前だろうか、水不足で苦労した記憶がよみがえったが、その心配も無用のようである。逆に大雨による被害の方が心配になってきた。去年は台風の当たり年で甚大

な被害が出た。いずれにしても自然には敵わないということであろう。わたしたちが住む三原市は、気候温暖で比較的天災の少ない地域である。海があり、山があり、風光明媚な地域である。筆影山からみる景色などは、全国各地の景勝地に引けをとらないのではないだろうか。今年には広島県の大型観光キャンペーン「ええじゃん広島県」が展開中である。1市3町の合併により、新三原市にも新たな観

光資源が加わった。久井の岩海などは、その一例であり、新市にとって新たなPRとなる観光資源の一つと云っていいだろう。観光資源と言えば、もうすぐ「やっさ祭り」の時期となる。「やっさ祭り」も広島県を代表する祭りの一つとして、定着しつつあるように思える。今年には特に30回という記念すべき年である。また、新三原市が誕生してはじめての祭りとなる。合併はしたが実感はあまりない市民にとっ

ても、この祭りに参加あるいは見に来てもらい、市民一人一人が一体感を持てるいい機会になればと思う。今年には久井町や大和町からも臨時バスが企画されている。いずれにしても、多くの観光客が訪れ、やっさ祭りが盛況下に終わることを祈らずにはいられない。